



キャプテンゆうひ一気に優勝!

梅雨の晴れ間となった7月23日(土)、板橋平和公園で第8回25ポイントマッチが行われ、ゆうひが岡ちゃん、ハルクを寄せ付けず、堂々の初優勝を飾った。先月のソウタに続く子どもの優勝で、NIBはまた混戦模様を呈してきたようだ。

準決勝は女流・子どもが大躍進の波乱状態

準々決勝上位9人が勝ち上がる準決勝には、りょう、ゆりちゃん、あいちゃん、ゆうひ、えいたの5人が選出され、25ポイントマッチらしい波乱状況となった。もちろん大人もマックス吉岡、岡ちゃん、ハルク、岩坊という4人の精鋭が残っているので、どうにか面目は保ったが、「何かが起こる」そんな予感を感じさせる展開となった

決勝は岡ちゃん、ハルク、ゆうひの戦いに

その準決勝では、昨年、あと1点で初優勝を逃した岡ちゃんが、今回も決勝戦に勝ち進み、雪辱を狙う。方やゆりちゃん、あいちゃん相手にぶっち切りで25ポイント稼いだハルクと、中盤一気に岩坊とえいたを引き離れたゆうひの3人が決勝戦に進んだ。

予選から好調のゆうひは、準々決勝から絶好調をキープ、ランナーズハイのテンションで決勝戦に臨む。ゆうひはキャプテン得点倍付けルールを活かし、準々決勝で今年の覇者ほん魂六角を倒すと、準決勝でも一気に12得点で駆け抜ける。キャプテンになると何故か相手のベーをはじき出す。まるで何かゆうひに乗り移ったかのようだ。そうはさせじと岡ちゃんもハルクもキャプテンでポイントを稼ぐが、ゆうひの勢いの前では真っ青だ。中盤、ゆうひが6点稼ぎ、さらに4点稼いだ辺りから、二人に焦りが生じる。一気に抜き去りたいところで得点を伸ばせず、ゆうひにキャプテンの順番が回り、そこでさらに離される。試合はゆうひが残り5ポイントでキャプテンが回り、投げた瞬間岡ちゃんベーを弾き出したところでジ・エンド。ゆうひの初優勝だ。

勢いというのは怖い。何も考えず、ただ無心に力いっぱい投げ入れるゆうひには、百戦錬磨の大人でも、為すすべなしといった状態に陥ってしまった。手が付けられないとはこのことだ。それはそうと、大人たち相手に見事な優勝を飾ったゆうひに称賛の声をおくりたい。おめでとう、ゆうひ。



ゆうひ、ゆりちゃん おめでとう!



女流王はゆりちゃん、子ども王はゆうひ

準決勝では師匠のハルクの前に涙をのんだが、予選を満点の 50 点、準々決勝も満点の 25 点を取り準決勝に進んだゆりちゃんが、文句なく女流王だ。床外しはしないし、二つ飛ばしもするし、相変わらず強いねえ。子ども王はもちろん優勝したゆうひです。



名人戦七月場所は鉄人後藤がトップ

現名人平井おやぢに挑戦するのは誰か。いよいよ第十六期名人戦が始まった。スタートダッシュで抜け出したのは鉄人後藤だ。合計得点は 50 点、13 人と対戦しアベレージは 3.54、スペシャルポイントも 4 ポイント稼いでいる。好調な出足といえるだろう。そして、2 位につけるのはマックス吉岡。10 人と対戦しアベレージは 3.90、スペシャルポイントが 4 加わり合計得点は 43 点だ。続いて 3 位奥田パパ、4 位だいち、5 位岩坊と続く。名人戦は始まったばかりだが、来月からの 3 ヶ月間で予選は終了する。毎月順位は変動するだろうが、序盤の成績が重要だ。ここから気を引き締めて行こう。

2016 バロンドールは マックスがトップ

2014、2015 と 2 年連続でバロンドールに輝いたマックス吉岡が、今期も連続優勝でがちりポイントを押しさえ、17 ポイントでトップを譲らない。2 位には 10 ポイントでハルクと岩坊が並び、4 位には 8 ポイントのゆりちゃんが続き、これをゆうた以下 6 人が追う展開となっている。首位のマックスのポイントが一人抜けているので、これを追い越すのは至難のわざといえるが、どこかで誰かが連続優勝でもすれば、面白い流れになるだろう。

ガチホンとはーさんが 5 回目のヤッター～!

ガチホンコの鬼といってもいいのではないかとーさん成田が通算 5 回目の優勝でまた笑顔だ。大会では 1 ポイント足らず準々決勝を逃したとーさんだが、ガチホンコとなると本来の勝負強さを発揮、ゆうひ、ゆうと、ゆうたの 3 人を退けると、決勝では岡ちゃんをきれいに弾き飛ばし優勝だ。ホンコとなると人が変わったかのように強さを見せるとーさん。ガチホンには勝負師としての魂が呼び起こされるのかも知れない。



と
ときは今
ベテラン体み
チャンスあり
鉄人

い
一発逆転
キープ
テシ制
ヤスジ